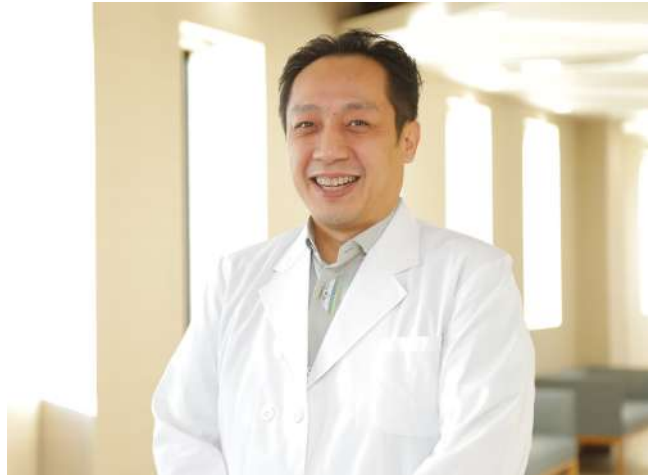




医療法人やまびこ会

# 福岡東ほばしらクリニック

患者情報や画像データの管理から電子カルテシステムまで幅広い機能を有すシステムを希望  
ペーパーレス化に大きく貢献できる可能性を感じた STELLAR を導入



張同輝 院長

## 導入経緯

多くなる紙情報を一括管理し、  
ペーパーレスを目指す

開院前に、院内の画像情報をどのように管理していこうか検討していたところ、アストロステージさんの製品を目にしました。従来の PACS の操作感のまま、その枠を超えた多種多様な情報の管理が一括で行えるところに魅力を感じました。開院時に選定するシステムは、その後の院内の業務フロー構築にも大きな影響があると考えています。当院は、開院当初より可能な限りペーパーレスを目指すことを方針としており、そのためにも柔軟な対応とカバーできる情報の多さで、STELLAR の導入に至りました。

## クリニックでも使える本格的な機能の選択肢

アストロステージさんの製品は、STELLAR を中心に様々なアプリケーションが連動して動いています。当院のように、単科のクリニックでは総合病院の様な細分化された組織図ではないため、大規模なシステムではどうしても不要な部分も多く出てきます。その点、STELLAR に必要な機能をトッピングするようにアプリケーションを選択することができることは、大きなメリットでした。

また、操作感が特殊でないことも選定の大きな決め手です。感覚的に操作するだけで、必要な情報にたどり着きやすいことは、PC 操作に慣れていないスタッフにとっても扱いやすいため、大きなメリットだと感じます。

## 導入システム

|  |                 |              |
|--|-----------------|--------------|
|  | DICOM 画像管理システム  | Nazca        |
|  | 診療情報統合システム      | STELLAR      |
|  | ドキュメント作成&管理システム | SophiaReport |
|  | タブレット画像撮影ソフト    | AcePhoto     |

## 導入効果

全ての情報を集約することから始める

当院は新規開業のため、導入前後の比較はできませんが、開院時よりとにかく全ての情報を STELLAR に集約することを意識しています。透析部門システムとの連携も行ってもらい、透析の情報も日々自動で取り込めるようにすることで、「電子カルテ」「透析部門システム」「STELLAR」の 3 本柱で情報管理が行えるようになりました。

本来であれば、求める情報を探しに色々なシステムを行ったり来たりしなくてはいけないところを、一カ所に情報をあつめることでその手間が省けることは、他施設さんでも同様の効果が得られるのではないかと思います。



張院長とスタッフの皆さん

導入前の課題

Before

- 部門やシステムの違いで情報の分散が起きないようにしたい
- コピーや転記などを一切行わず、確実な情報共有を行いたい

導入後の効果

After

- 入力した情報が、各システムにスムーズに連携され、視認性も高く操作しやすい
- 患者の情報が 1 カ所に集約されるので、情報収集の時間が短くなる

## 福岡東ほばしらクリニック：システム導入時期 / Dec 2019



2019 年 12 月開業の、透析クリニックです。40 床すべてが個室で、プライバシーを確保し、感染対策にも配慮した空間づくりを意識しています。当院が特に力を入れている透析治療方法は、オーバーナイト透析といって夜間に来院し就寝中に透析を行う方法です。日中の時間を自由に使えるため、患者さんの社会復帰が容易になり、また長時間の透析を行うことで高い治療効果を期待できます。

外来透析のほか、一般内科や糖尿病内科の外来診療も行っています。内科外来では、平日の通院が難しい方のための土日診療も行っています。

所在地：福岡市東区名島 1 丁目 28 番 22 号  
病床数：病床なし、透析ベッド 40 床  
診療科：内科／腎臓内科／糖尿病内科／人工透析内科（オーバーナイト透析、在宅血液透析、長時間・頻回・日曜透析対応）

## 今後の方針

透析施設での STELLAR 採用は、まだまだケースが少ないと思うので、透析に特化した便利な使い方を模索していきたいと思います。透析は、週に 3 回患者さんは通い続けなければいけない治療ですので、膨大なデータが蓄積されていきます。これらを分析して治療にフィードバックできる仕組みの構築を目指したいと思います。

## システム構成図

